

自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…市長と地域を代表する女性との懇談会開催
防犯及び通学路用のぼり旗を作製
- 3面…春の全国交通安全運動
宇佐美郁人君 川合市長表敬訪問
川越市自主防災会連絡会視察研修
- 4面…的場下組自治会館完成
緑の募金へのご協力を！
平成31年度川越市自治会連合会自治会長研修会・定期総会
「川越子どもサポート発表会」開催
編集後記

平成30年度を振り返って

川越市自治会連合会 会長 本間 幸治

平素は、各自治会の皆様には、川越市自治会連合会の諸活動に対して温かいご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、昨年度を振り返りますと、平成30年7月の西日本に猛威を振るった豪雨災害に対し自治連では義援金活動を行い、2,174万5,472円もの募金が寄せられました。改めまして、ご協力をいただきました皆様に対し、厚く御礼を申し上げます。

また、平成30年7月10日(火)には、交通安全対策の推進事業として、福原中学校においてプロのスタントマンの実演による「交通安全教室」を行いました。猛暑の中、福原小・中学校の児童・生徒のほか、保護者、川越交通安全協会、川越市交通安全母の会、川越市老人クラブ連合会など、多くの方々に参加していただきました。市内の交通事故が少しでも減少するよう、今後も継続して開催してまいりたいと考えております。

さらに、環境美化活動としまして、11月4日(日)の「健康まつり」では、ブルーベリーの苗木を150本無料で配布しました。会場は配布希望者が長蛇の列となり、苗木配布事業の人気を感じました。

平成30年度は新たな取り組みとして、9月9日(日)に開催した「新任自治会長研修会」のほか、自治会加入促進事業の一環として、11月17日(土)には、「自治会意見交換会」を開催しました。貴重な意見交換の場となり、あわせて参加者同士の交流も図ることができました。



交通安全教室(7月10日(火))

平成31年1月30日(水)には、川合市長をお招きし、川越氷川会館において「市長と地域を代表する女性との懇談会」を開催しました。各地域の様々な活動を通して、日頃感じていること、女性ならではの成功事例などについて、現場の声を聞くことができました。

今年度も自治連では、行政と市民のパイプ役として、住民ニーズを踏まえた「住民自治」を旗印に、安全安心のまちづくりを目指して活動してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしく申し上げます。



新任自治会長研修会(9月9日(日))



ブルーベリーの苗木配布(11月4日(日))



自治会意見交換会(11月17日(土))

市長と地域を代表する女性との懇談会開催

平成31年1月30日（水）、川越氷川会館桐の間において、自治会連合会主催「市長と地域を代表する女性との懇談会」が開催されました。今回は、本庁管内の第1～第5支会、市民センター管内の芳野・古谷・南古谷・高階・福原・山田支会の計11支会の女性の方が各支会から2名ずつ推薦され、ふだんから様々な地域の活動に携わり、ご活躍されている皆様にご参加いただきました。

本間会長のあいさつの後、事前にお伝えしていた3つのテーマ、「地域活動で女性が取り組みたいこと」、「女性役員のお取り組みによる成功事例について」、「自治会活動における女性の役割について」に沿った内容で懇談会が進められました。参加者の方からは、「男性も女性もそれぞれの分野に積極的に参加できる社会になってほしいと思います。」、「地域によって男性優位、女性優位、全然異なる。」、「各地区ごとの問題（テーマ）を知り参考になりましたが、更に問題点等を深める話し合いができる時間がもう少し欲しかった。」等の感想が寄せられました。市長と直接お話ができる機会とあって、初めは緊張ぎみであった参加者の皆様も、市長からの一件一件丁寧な回答、コメントに会場内は和やかな雰囲気にも包まれ、有意義な懇談会となりました。



防犯及び通学路用のぼり旗を作製

自治会連合会では、地域の安全・安心の防犯対策事業・青少年健全育成事業の一環として、空き巣注意喚起のぼり旗・通学路用のぼり旗を作製し、各自治会に配付しました。

のぼり旗については若干の予備がありますので、ご希望の自治会は事務局までお問い合わせください。

（のぼり旗用のポールはありません。）

事務局：川越市地域づくり推進課内

電話：224-5705



春の全国交通安全運動

平成30年の本市の交通事故の発生状況は、交通事故死者数が前年より5人少ない3人、人身事故件数が4件少ない1,407件でした。

特に、高齢者の自転車事故が多いことから、平成31年度の本市における交通事故防止の重点目標は、「高齢者の自転車乗用中の交通事故防止」です。

ぴかぴかの新一年生の姿を目にする時期となりました。未就学児の頃は、ご両親と手をつないで、道路を渡っていたかと思います。しかし、この春からは一人で歩く機会が急に増え、新一年生の交通事故が非常に増える時期です。このような事故を防ぐためにも地域の中での見守りや声かけ等にご協力いただきますようよろしくお願いします。

5月11日(土)から5月20日(月)は、春の全国交通安全運動期間であり、本市では下記日程で実施予定です。出発式は、東京国際大学チアリーディング部による演技も予定しておりますので、ぜひ会場にお越しください。

	出発式及び街頭広報・歩行者保護の日	自転車安全利用推進の日・飲酒運転根絶の日	交通事故ゼロを目指す日
日時	5月10日(金) 午前10時から	5月14日(火) 午前10時から	5月17日(金) 午前10時から
会場	ウェスタ川越交流広場	市役所周辺	本川越ペペ前広場



昨年のお出発式

宇佐美郁人君 川合市長表敬訪問

平成31年2月22日(金)、スズキジャパンカップ2018第35回全日本総合エアロビック選手権大会全国大会、ユース1男子シングル(11~13歳)に初出場し、優勝に輝いた宇佐美君(川越市立高階西中学校2年生)が川合市長を表敬訪問しました。更なる活躍が楽しみです。



川越市自主防災会連絡会視察研修



平成31年2月4日(月)、川越市自主防災会連絡会は、東京電力フュエル&パワー株式会社川崎火力発電所において、視察研修を行い、会員71名が参加しました。

本研修では、昨年9月の「平成30年北海道胆振東部地震」における道内全域での停電を踏まえ、川崎火力発電所において、同施設の見学及び地震等災害への備えについて説明を受けました。

川崎火力発電所の主力燃料はLNG(液化天然ガス)であり、世界各地で産出されているため安定的に供給でき、さらに、天然ガスを液化することで体積を抑え、輸送及び保管の効率を高めているとのことでした。今回の視察研修に多くの自主防災組織が参加したことで、各組織間の情報交換や、親睦も深められ、参加者にとって有意義な研修となりました。

(自治連事務局職員感想)川崎火力発電所は、環境に配慮し、供給の安定性など経済性に優れている施設であり、地震や津波など、災害が発生した場合における対策として、煙突の耐震補強を施し、盛土により地表を高くしているとのことでした。施設内には、大きなタービンがあり、航空機の一部を見ているような感じがしました。また、監視体制や非常時における自衛消防隊などの活動体制も万全で、広大な敷地(面積約28万㎡)ということもあって、自衛隊の基地などを想像するような気分になりました。

的場下組自治会館完成

平成31年2月に的場下組自治会館が完成しました。新たな地域コミュニティ活動の拠点として、様々な目的でご利用いただき、今まで以上に地域が活性化することが期待されます。



所在地：的場1876-1
構造：木造平家建
延床面積：183.22㎡

緑の募金へのご協力を!

緑の募金は、地域の緑化を推進し、緑に親しむ環境づくりを進め、快適で住みよい緑豊かな郷土づくりに寄与しています。

【募金期間】

本年5月1日(水)～5月31日(金)

【募金の使途】

募金の一定割合が川越市に交付され、その交付金を活用して、自治会館や小中学校等の緑化事業を実施します。

【問い合わせ先】

川越市環境政策課 みどりの担当
電話：224-5866



川越ビレジ自治会の緑のカーテン

平成31年度 川越市自治会連合会 自治会長研修会・定期総会

今年度の自治会長研修会・定期総会は、次のとおり実施する予定です。

日時：本年5月30日(木)

午後1時30分から 自治会長研修会

午後3時30分から 定期総会

場所：川越氷川会館 3階 鳳凰の間

「川越子どもサポート発表会」開催

平成31年2月9日(土)、西文化会館において、「川越子どもサポート発表会」が開催されました。

発表会は、子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域がどのように連携を進めていけばよいのか、その取り組みについて、実践発表を中心にみんなで考える機会として実施したものです。当日は各地区サポート委員をはじめ、学校関係者、保護者、自治会の方など約330名が参加しました。

会の中では、14地区のうち11地区の活動がダイジェストで紹介されました。その後行われた、今年度発表地区の川鶴地区、高階地区、南古谷地区のプレゼンテーションでは、地区の歴史、子どもサポート委員会の具体的な活動の様子や今抱えている課題、将来の活動に向けた提案が発表されました。

各地区の活動発表の後は、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」ベスト見つけ賞(金賞)の児童・生徒の作品発表と表彰が行われました。作文の発表や作品の紹介では、自分の住む地域の自然や文化、自分を温かく見守り育ててくれる地域の人々への思いのこもった発表が行われました。どの受賞者の発表も大変素晴らしく、会場からは盛大な拍手が送られていました。

編集後記

今年の干支、亥年は、過去に大正12年の関東大震災、伊勢湾台風そして阪神淡路大震災等と多くの災害が発生しています。

今年は、現在のところ大きな災害がなく、ほっとしています。

災害は個々人の努力だけではどうにもならない部分がありますが、「災害は忘れた頃にやってくる」と申します。常に防災対策を心がける気持ちは大事なことかと思えます。

災害発生記事が「自治連だより川越」の紙面を割くことがないことを願っています。

(M.H)